

令和6年7月19日
～美ら島の未来を拓く～
沖縄総合事務局

「沖縄総合事務局 開発建設部防災訓練（地震・津波）」 の実施について

この度、沖縄総合事務局開発建設部において防災訓練（地震・津波）を実施しますのでお知らせ致します。

本訓練は、地震・津波の災害発生時における初動対応に重点を置き、開発建設部BCPに基づく初動体制の構築を行うとともに、国土交通省との第1回特定災害対策本部会議開催に向け、実際の時間経過に基づく実践的な関係部署間での情報伝達等の連携を図ることを主な目的としております。

記

1. 日 時：令和6年7月24日（水）13:00～16:30 ※16:30～反省会
2. 会 場：沖縄総合事務局 災害対策室（那覇第2地方合同庁舎2号館2階）
3. 実施内容
 - 第1回 開発建設部 災害対策室本部会議の開催（14:10～）
 - 第1回 国土交通省 特定災害対策本部会議（15:00～） ※開催は見なし
 - 第2回 開発建設部 災害対策室本部会議の開催（15:10～）

4. 取材について

取材をご希望の方は、7月23日（火）17:00までに、下記問い合わせ先まで電話にてご連絡下さい。

尚、取材に関しては訓練の妨げにならない限り、特に制限はありません。

※台風等で急遽、中止となる場合はこちらから御連絡致します。

訓練イメージ（令和5年度 防災訓練状況）



【問い合わせ】

内閣府沖縄総合事務局 開発建設部防災課
TEL：098-866-1903
担当者：那覇 出 蔵本 和人

「沖縄総合事務局 開発建設部防災訓練（地震・津波）」の概要

■訓練趣旨

大規模自然災害の発生時には、まず第一に、被害状況の把握（特に人的被害、孤立集落、人流・物流の障害など救命・救助等に関する情報）が重要となります。

本訓練は、地震・津波の災害時における初動対応（発災～5時間）に重点を置き、開発建設部BCP（※）に基づく初動体制の構築を行うとともに、国土交通省との第1回特定災害対策本部会議開催に向け、実際の時間経過に基づく実践的な関係部署間での情報伝達等の連携を図ることを主な目的としております。

また令和6年4月3日に発生した台湾地震に伴う津波対応事項も訓練に反映させることにより、訓練の実施過程における課題抽出を含め、各種防災計画等への反映（見直し）を行い、発災時における災害対応に向けた能力向上を図っていきます。

※業務継続計画

■R6訓練における新たな取り組み・ポイント

○Teams・Forms等のツール活用による情報収集能力の向上

被害状況の把握は従来、主に電話やメールで対応しておりましたが、今回訓練においてTeamsやFormsにより、訓練関係者間における情報の共有・迅速化を図ります。

また現地からの被害箇所・画像報告についても、原則、DiMAPS（※）によるデータ登録を行うことにより、早期の現地情報の把握を行います。

※総合災害情報システム
<https://dimaps.mlit.go.jp/dimaps/index.htm>

【当日の主なスケジュール内容】

- 13:00 地震発生（訓練スタート）
 - ・災害対策室設置、参集、情報収集開始
- 14:10 第1回開発建設部 災害対策室本部会議の開催
 - ・職員等の安否・庁舎被災確認
 - ・ホットライン構築及びリエゾン派遣
 - ・災害協定に基づく協定締結機関への支援要請（防災エキスパート等）
 - ・DiMAPSによる情報収集
- 15:00 第1回国土交通省 特定災害対策本部会議＜発災後2時間後＞ ※見なし
- 15:10 第2回開発建設部 災害対策室本部会議の開催＜発災5時間後想定＞
 - ・各班長及び支部長による被災調査報告
 - ・JAXA：衛星画像による緊急観測
 - ・防災ヘリによる調査報告（本島周辺調査）

（その他）

- ・今回訓練では実際の発災時の初動を想定し、13:00訓練スタート後、職員参集による災害対策室設置から開始となります。取材される方は災害対策室入口で受付後、室内の待機スペースにご案内致します。